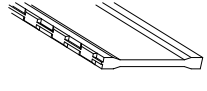
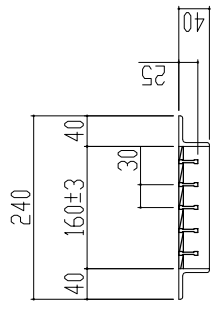
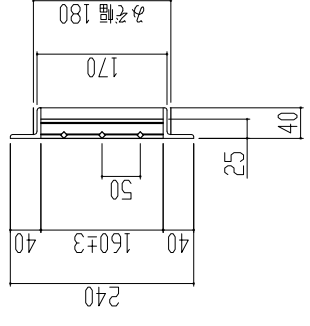
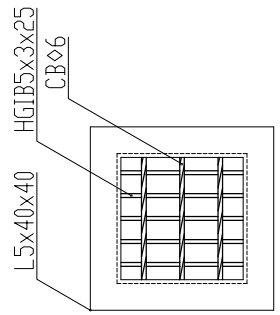


車輛進行方向(横断)



重量 2.9 kg

主部材詳細図

表面処理 本体は溶融重鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	訂正番号	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	承認印	検印	製図	図面名称	図番
	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	四面ソバ付き(ハイテン) グレーチング 溝幅180用 並目 ノンスリップ T-2	LNFL255-160/160
	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	松本	縮尺
	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	検閲	平元	重量
(maK) 株式会社 マキテック MK駐輪事業部											
MGK-L-510											

グレーチング強度計算書



1 仕様	品名	LNLF255-160/160
	製品寸法	160x160x25
	主部材	1-5 × 3 × 25
	断面係数	Z= 0.485 cm ³

2 設計条件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 180
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3 強度計算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 30 / 32000$ $\omega = 7.50 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times L \times L / 8 \quad \text{より}$ $M = 30375$ $M = 30,375 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 30,375.0 / 485.000$ $\sigma_b = 62.63 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{\underline{62.63 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$

4 総括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
---------	--